

(2) 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（令和4年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名：環境生活部

1 指定管理者の概要等

| | |
|-----------------|--|
| 施設の名称及び所在 | 三重県環境学習情報センター (四日市市桜町 3684-11) |
| 指定管理者の名称等 | アクティオ株式会社 代表取締役社長 淡野 文孝 (東京都目黒区東山 1 丁目 5 番地 4 号 KDX 中目黒ビル 6 階) |
| 指定の期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 |
| 指定管理者が行う管理業務の内容 | 1 環境の保全に関する普及啓発を行うこと 2 環境の保全に関する研修会、講習会等を行うこと 3 環境に関する情報の収集及び提供を行うこと 4 環境の保全に関する活動の促進及び交流等を図ること 5 その他（施設等の維持管理及び修繕に関すること等） |

2 施設設置者としての県の評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

| 評価の項目 | 指定管理者の自己評価 | | 県の評価 | | コメント |
|--------------|------------|----|------|----|---|
| | R3 | R4 | R3 | R4 | |
| 1 管理業務の実施状況 | A | A | | | 県民に開かれた環境教育・環境学習、情報受発信の拠点として各種講座、情報提供、展示等を充実させ、子どもから大人まで幅広く利用できる施設としての役割を果たしている。新型コロナウイルス感染症対策のため、設備の消毒の徹底や換気等の対策を行いながら、施設・設備の的確な維持管理を行うことができた。 |
| 2 施設の利用状況 | B | A | | | 小中学校に向けて、年度当初から施設の利用案内を行ったところ、学校行事での来館による施設見学と環境講座では 70 校、11,026 人（前年度比 169.9%）が受講し、主催講座については、111 回開催、2,118 人（前年度比 197.2%）が受講しているなど、昨年度より施設利用者が増加した。 |
| 3 成果目標及びその実績 | B | B | | | 新型コロナウイルス感染症の影響により、環境教育参加者数は成果目標を達成できなかったが、施設や環境学習講座の利用促進や業務のさらなる改善、利用者の満足度の向上に努めた結果、「児童・生徒を対象とした環境教育参加者数」等成果目標のうち、達成すべき成果目標 5 項目中 3 項目を達成、未達成の 1 項目も 9 割以上の達成となっている。 |

※「評価の項目」の県の評価:

「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。

「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。

「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

| | |
|---------------|--|
| <p>総括的な評価</p> | <p>(1) 成果目標に対する達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による大規模イベントの中止等により、成果目標のうち2項目で未達成となったものの、「環境学習地域リーダー養成を目的とした講座受講者数」の達成率は97.3%と昨年度の50.1%から大きく改善した。 また、「児童・生徒を対象とした環境教育参加者数」は16,905人と目標10,000を大幅に上回り、「環境活動を協働した環境団体数」は令和7年度までの目標25団体を前倒しで達成した。 <p>(2) 残されている課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策や、より幅広い層に対する講座等の開催に向けて、オンラインでの講座の拡充等の取組と合わせ、カーボンニュートラル等、環境に関する新たな情報を取り入れるなど、展示や情報の更新が必要である。 <p>(3) 翌年度に取り組むべき成果目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を確実にいき、施設利用者の安心安全を確保しながら、利用者のニーズを踏まえた取組を実施することで、施設利用者の満足度の維持向上に向けて取り組んでいく必要がある。 <p>(4) その他</p> <p>① 県民ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の参加者等に対し、アンケート調査を行い、県民のニーズを把握し、サービス改善を図っている。アンケートの結果、講座を通じて自発的に環境活動に取り組む意向を示した講座参加者の割合は98.7%と高い水準を示している。 <p>② 県民のサービス向上の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、イベントの開催・出展、社会見学の受入れ、県内各地での主催講座や出前講座の開催、情報発信、施設や図書等の維持管理が適切に行われている。 ・ホームページのリニューアルやオンラインで主催講座に申し込めるよう対応するなど、工夫が行われている。 ・環境情報の収集・発信については、得られた情報を講座に組み入れて提供するとともに、講座やイベントの開催等について、情報誌「環境学習みえ」やホームページ、メールマガジン、SNS等により積極的に情報を発信している。 <p>③ 施設の適正な維持管理の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月センターから提出される管理運営報告を確認するとともに、指定管理業務について年2回モニタリングを実施し、概ね適正に処理されていることを確認した。 <p>以上のことから、三重県環境学習情報センターの管理者として、コロナ禍において適切な実績を残していると評価できる。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応を含め、県内環境団体とのネットワークやセンター職員が持つノウハウを生かし、環境学習・環境教育の一層の充実と適切な施設運営を進められることを期待する。</p> |
|---------------|--|

<指定管理者の評価・報告書(令和4年度分)>

指定管理者の名称：アクティオ株式会社

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1)管理業務の実施状況

① 三重県環境学習情報センターの管理事業の実施に関する業務

- ・三重県環境学習情報センターの管理事業の実施にあたっては、基本協定書および年度協定書の管理業務(業務計画書)に基づき、環境教育の普及・啓発と県民サービスの向上に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、玄関ホールに入館者の手指消毒用アルコールの設置、受付窓口の飛沫感染防止シートの設置、講座時はマスク着用、部屋の換気、間隔をとっての着席、必要に応じて透明アクリル板の設置、次亜塩素酸ナトリウムでのふき取りなどを行った。

a. 展示施設管理

- ・展示施設等の維持管理業務では、展示室の維持管理、研修室等の貸室業務、図書の管理業務を実施した。なお、社会見学などでの利用があった後は、次亜塩素酸ナトリウムで接触部位のふき取りを行った。
- ・貸室利用は16件であった。

b. 環境講座

- ・小中学校に向けて、年度当初から施設の利用案内を行ったところ、学校の来館による施設見学と環境講座は70校、11,026人が受講した(前年度比69.9%増)。10月～11月に希望が集中したため、断らざるを得ない場合もあった。
- ・主催講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集人数を減らし、マスク着用、間隔を空けて着席、または間にアクリル板を設置、窓を開けて換気するなどの対策をして実施した。
- ・主な主催講座として「環境基礎講座(全5回)」「ESD実践講座」などを開催し、その他のセンター主催講座と併せて111回、2,118人が受講した(前年度比97.2%増)。各講座の開催にあたっては、県内各地の施設や団体との協働にも努めた。
- ・県内各地へ出張して実施する出前講座は、大雪等の影響でキャンセルも生じたが、150回、5,563人の受講があった。
- ・環境学習地域リーダー養成講座については、主催講座で76回、出前講座で3回開催し、延べ1,459人が受講した(94.3%増)。

c. 環境イベント

- ・8月に予定していた「夏のエコフェア」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止し、事前申込制の夏休みこども環境講座を実施した。
- ・四日市市の近隣3施設との協働事業「ワクワクふれあいまつり」と、その中での「春のキッズエコフェア」および、「秋のキッズエコフェア」の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

d. 情報発信

- ・情報紙「環境学習みえ」の年4回発行と毎月10日発信のメールマガジンに加え、ホームページやFacebook等を運用し、適時、情報発信に努めた。

e. 公募事業

- ・「地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」を実施した(中学生の部1,164作品、小学生の部405作品)。
- ・優秀作16作品(小学生の部8作品、中学生の部8作品)を表彰し、三重県総合博物館、三重県上野森林公園、三重県立熊野古道センター、伊勢市立伊勢図書館、及び三重県環境学習情報センターで展示を行い、地球温暖化防止について考える機会を提供した。

f. こどもエコクラブ三重県事務局事業

- ・県内の「こどもエコクラブ」の登録会員数は、年間で63クラブ、11,948人となった(前年度比1.5%減)。
- ・各市町担当者への研修会として、5月に「こどもエコクラブ市町担当者研修会」をオンラインで実施し、こどもエコクラブの役割や全国のこどもエコクラブの取組内容等について、こどもエコクラブ全国事務局より講演いただいた。
- ・各クラブの活動の様子など1年間の活動をまとめた「令和4年度 こどもエコクラブ活動報告集」を作成し、各クラブ等に配布した。
- ・県内のこどもエコクラブの交流を図るための「三重県こどもエコクラブ県内交流会2022」については、新型コロナウイルス感染症対策として、動画配信により、地産地消による省エネ等について子どもたちが学んだうえで、「県内産小麦を使ったうどん作り」に挑戦し、写真等による会員間の取組状況の報告や「こどもエコクラブ活動報告集」による紙上交流会

を実施した。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・館内施設について、毎日の巡回点検を励行し、安全管理と設備の維持管理に努めた。

③ 県施策への配慮に関する業務

- a. 人権尊重社会の実現への取組
- ・聴覚や視覚の不自由な方が来館されたときに、受付で筆談の案内や補助犬同伴による利用の案内を実施している。
- b. 男女共同参画社会実現への取組
- ・三重県男女共同参画センターの事業「フレンテまつり」がオンラインによる実施形態となったため、環境学習情報センターの紹介と風呂敷活用の動画配信により参加し、啓発活動に協力した。
- c. 持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動への取組
- ・「食品ロス」をテーマとした講座開催を通じて実践・啓発に努めている。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・「三重県環境学習情報センターの管理に関する情報公開実施要領」に基づき適正に対処した。令和4年度においての情報開示請求はなかった。
- ・個人情報保護については「三重県個人情報保護条例」を遵守するとともに、「三重県環境学習情報センターの管理に関する基本協定書」第12条に基づく「個人情報保護に関する事項」に従い適正な管理を励行し、アクティオ社内においても「施設個人情報安全対策」に基づき、個人情報保護教育を行った。

⑤ その他の業務

特になし

(2) 施設の利用状況

環境学習情報センターの利用者数

| | 目標 | 実績 | 達成率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| 令和4年度環境教育参加者数 | 32,000人 | 24,611人 | 76.9% |
| 令和3年度環境教育参加者数 | 32,000人 | 15,522人 | 48.5% |
| 対前年比 | | 158.6% | |
| 利用者内訳 | | | |
| | 回数 | 人数 | (独自目標) |
| 主催講座 | 111回 | 2,118人 | |
| 出前講座 | 150回 | 5,563人 | 80回以上 |
| 学校社会見学 | 70校 | 11,026人 | 35校以上 |
| 一般団体見学 | 67回 | 170人 | 35回以上 |
| フリー来館・貸室 | 貸室16回 | 1,266人 | |
| 交流会 | 7回 | 168人 | |
| 行事等 | 15回 | 2,731人 | |
| ポスターコンクール | - | 1,569人 | |
| 合計 | | 24,611人 | |

2 利用料金の収入の実績

・貸室利用は 16 件で、全て減免対象に該当し無料の使用を許可した。

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|--------------|------------|------------|--------|------------|------------|
| | R3 | R4 | | R3 | R4 |
| 指定管理料 | 32,121,553 | 32,046,570 | 事業費 | 28,765,058 | 29,566,075 |
| 利用料金収入 | 28,300 | 0 | 管理費 | 4,065,362 | 3,842,903 |
| その他の収入 | 158,746 | 297,044 | その他の支出 | 0 | 0 |
| 合計 (a) | 32,308,599 | 32,343,614 | 合計 (b) | 32,830,420 | 33,408,978 |
| 収支差額 (a)-(b) | △521,821 | △1,065,364 | | | |

※指定管理者が変わった場合、前年度の収支状況には斜線を記入しています。

※参考

| | |
|---------|----------|
| 利用料金減免額 | 85,500 円 |
|---------|----------|

4 成果目標とその実績

| 1 達成すべき成果目標 | | | |
|------------------------------------|--|----------|---------|
| 項目 | 目標値 | 実績 | 達成率 |
| ①環境教育参加者数 | 32,000 人 | 24,611 人 | 76.9% |
| ②児童・生徒を対象とした環境教育参加者数※1 | 10,000 人 | 16,905 人 | 169.1% |
| ③環境学習地域リーダー養成を目的とした講座受講者数※1 | 1,500 人 | 1,459 人 | 97.3% |
| ④環境活動を協働した環境団体数※2 | 最終年度までに 25 団体以上 | 25 団体 | 100.0%※ |
| ⑤講座を通じて自発的に環境活動に取り組む意向を示した講座参加者の割合 | 95%以上 | 98.7% | 103.9% |
| ※1. ②③は①の内数 | | | |
| ※2. ④の達成率は最終年度までの目標に対する達成率 | | | |
| 2 独自で定めた成果目標 | | | |
| 項目 | 目標値 | 実績 | 達成率 |
| 「センター通信」等の情報発信数 | 263 回 | 341 回 | 129.7% |
| 今後の取組方針 | 令和4年度は県内での社会見学等が増加し、環境教育参加者数は令和3年度より増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために春・夏・秋のイベントが開催できず、目標値を達成できなかった。 引き続き、利用者の増や自発的に環境活動に取り組む意識の向上に向けて、事業内容のさらなる充実、さまざまな主体との連携に努めていく。 | | |

5 管理業務に関する自己評価 ※指定管理者が変わった場合、前年度の評価は斜線を記入しています。

| 評価の項目 | 評価 | | コメント |
|--------------|----|----|---|
| | R3 | R4 | |
| 1 管理業務の実施状況 | A | A | 第4期の2年目として業務計画書や基本協定書に基づき、感染症対策を行いながら管理業務や事業展開を行い、目標の達成に努めた。また、利用者アンケートに応じて取組内容を見直すなど、業務内容のさらなる改善と利用者満足度の向上にも努めた。 |
| 2 施設の利用状況 | B | A | 年度初めに、「環境学習プログラムガイド」を各市町教育委員会を通じて小・中学校や旅行会社に送付し、社会見学や修学旅行、四日市市少年自然の家での自然教室の際に当センターを活用することを提案した結果、小・中学校の利用が増加した。 |
| 3 成果目標及びその実績 | B | B | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベントの中止、講座の募集人数の削減により成果目標の達成に至らないものがあつたが、中止した「夏のエコフェア」の代わりに、夏休みこども環境講座と、展示ホールでの環境パネル展を実施した。 このほか、一部の主催講座で配信型のオンライン講座を開催し、新型コロナウイルス感染症を心配される方や会場へ行くことが難しい方でも自分の都合の良い時間や場所での視聴を可能にした。 |

- ※評価の項目「1」の評価:
- 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」→ 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※評価の項目「2」「3」の評価:
- 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」→ 当初の目標を達成している。
 - 「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

| | |
|--------|--|
| 総括的な評価 | <p>(1) 成果目標に対する達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4期指定管理の2年目にあたり、管理運営の方針に基づき、管理業務、事業展開を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大規模イベントの中止やセンターの主催講座の募集人数の削減を行ったことから、成果目標5項目中2項目が未達成となったものの、社会見学の受け入れ数が増加したことにより「児童・生徒を対象とした環境教育参加者数」等は目標を達成した。また、「環境活動を協働した環境団体数」は2年目において目標を達成した。 <p>(2) 残されている課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な課題として、今後も環境学習地域リーダーの養成数の向上やセンター利用者の満足度の向上に努める。 <p>(3) 翌年度に取り組むべき成果目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を経て、大規模イベントの実施に対する利用者の意識の変化もあることから、困難な部分もあるが、指定管理者として引き続き、成果目標の達成および維持向上に努めていく。 <p>(4) その他</p> <p>① 県民ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者や施設利用者に対してアンケート調査を行い、利用者の意見を反映させるよう努めた。 <p>② 県民サービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中勢、伊賀、南勢志摩、紀北の4地域で地球温暖化防止啓発ポスターコンクール入賞作品の展示を行い、県内各地の方々に見ていただけるよう配慮した。 |
|--------|--|

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・主催講座の一部は会場に集まる対面式だけでなく、オンライン講座でも実施し、会場に行けない方や昼間に時間のとれない方でも、自宅などで都合の良い時間に講座を視聴できるようにした。・出前講座等で実施する環境学習プログラムの内容を整理してわかりやすくし、利用の促進につなげた。・講座に関するアンケートでは常に高い満足度の評価をいただいている。 <p>③施設の適正な維持管理の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の適正な維持管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策として、講座の人数の削減やオンライン講座の配信等により、適切な感染予防対策を講じた。 <p>④施設利用者の増加</p> <ul style="list-style-type: none">・社会見学等での来館者増加に向けて、旅行会社への利用案内の送付や小中学校の校長会での配布を行うとともに、近隣施設と連携して広報を行った。その結果、修学旅行や社会見学での利用が増加し、近隣施設の利用に合わせて当センターを訪問する利用者が増加した。 |
|--|--|